

都小社研 4年部会実践紹介 「私たちの東京都」単元
 ～伝統・文化を今に伝えるまち 浅草～

◆単元の主な流れ及び授業づくりのポイント◆

＜目標＞ 東京都内において伝統的や文化などの地域の資源を保護・活用しながら地域の発展を願い、特色あるまちづくりに努めている浅草の人々の様子に関心を持ち、調査・見学したり資料を活用したりして調べ、人々の工夫や努力、思いや願いについて考え、表現することができるとともに、都民の一員として関心を持ち、浅草のよさを理解してもらうためにできることを考える。

★授業づくりのポイント★

	○主な学習活動	※資料◇評価
つかむ ① ② ③ ④ ⑤	○クイズを通して浅草のまちの特色について気付いたことを出し合う。 ○多くの人が訪れる理由を予想し、見学計画を立てる。	※浅草寺・三社祭・大谷口→自分の地域の祭などの写真、年間観光客数表、東京都の地図 ◇【関・意・態】写真や表の読み取りなどから浅草に関心をもっている。
	○予想を確かめるために、浅草を見学する。 ○見たり聞いたりして得た情報をメモする。	※浅草の地図 ◇【関・意・態】浅草のまちに関心をもっている。
	○見学で得た事実を出し合い、カードで分類しながら共通するキーワードを考え、浅草の大まかなイメージをもつ。	◇【知・理】浅草は伝統や文化の生きるまちであることを理解している。
	○年表をもとに、昔から栄えていた浅草が昭和30年代になると人が集まらなくなったことを知り、再び元気を取り戻した理由を予想する。	※年表・昭和30年代と現在の浅草の写真 ◇【思・判・表】誰がどのようにしてまちづくりをしたのか調べるために学習計画を考え、表現している。
	★学習問題★ 誰がどのようにして今の元気な浅草のまちにしたのだろう。	
調べる ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	○おかみさん会の活動を調べる。 ○次々と新しいことをした理由を考える。 ○おかみさん会の方の話から思いや願いについてまとめる。	※おかみさん会の活動年表・おかみさん会の方の話 ◇【思・判・表】【技】浅草の人々の取組を資料をもとに調べ考え、思いや願いを表現している。
	○伝法院通り商店街の方々の活動を調べる。 ○手書きのチラシを作った理由を考える。 ○伝法院通りの方の話から思いや願いについてまとめる。	※改装前後の伝法院通りの写真・手書きのチラシ・商店街の人の話 ◇【思・判・表】【技】同上
	○台東区のまちづくりについて調べる。 ○台東区役所の取組の意味を話し合う。 ○台東区役所の方の話から思いや願いについてまとめる。	※まちづくりパンフレット・区役所の方の話 ◇【思・判・表】【技】同上
	○浅草寺の歴史を調べる。 ○なぜ何度も改修や建て直しが行われてきたのか誰が費用を出したのか話し合う。 ○浅草寺やまちの方の話から思いや願いについてまとめる。	※浅草寺歴史紙芝居・年表・浅草寺再建ビデオ 浅草寺の方の話 ◇【思・判・表】【技】同上
まとめる ⑩	○「まちづくり会議」という設定のもと、浅草のまちづくりに取り組む方々の工夫や願いなどについて話し合うことで、学習問題について自分の考えを表現する。	※調べる段階で習得してきた学習内容及び資料 ◇【知・理】伝統や文化を保護・活用し、協力し合い、まちづくりをしている浅草のよさについて理解している。
ふかめる ⑪ ⑫	○観光ボランティアガイドの方の話を聞いて浅草のまちのために自分たちができることを話し合う。 ○浅草のまちの様子や方々の働きの中から取り上げたいことを考え作品(浅草のよさに関するクイズカード)を作る。	※観光ボランティアガイドの方の話・観光客の内訳グラフ ◇【思・判・表】浅草のよさを都民に理解してもらうための方策を考え表現している。
	○観光ボランティアガイドの方に実際に自分たちの作品を使ってもらったことについて話し合う。	※児童作品(浅草クイズカード) ・観光ボランティアガイドの方の話 ◇【知・理】浅草のまちのよさについて理解している。

「つかむ」段階

・浅草の写真やクイズでの導入を工夫し、児童の興味・関心を喚起する。
・衰退期の浅草と繁栄期の浅草の写真を示し、具体的に比較させ問題意識を高めるとよい。
・疑問を集約して学習問題を決め、予想を学習計画に生かす。

「調べる」段階

・具体的な人々の取組を調べる→その取組みの意味を考える→その立場になって思いを表現するというパターンを繰り返した。こうすることで、児童が学習のスキルを身に付け、見直しをもてるようになる。なお、取り上げる人々については単元の目標に迫ることができればこの限りではない。

「まとめる」段階

学習問題に対する自分の考えを明らかにする。

「ふかめる」段階

・「参画認識」をふかめる場として実社会に働きかける方策を検討する場を設定。